

第3回鴻巣市総合振興計画審議会次第

日 時 令和3年8月19日(木)
午前10時00分～
場 所 市役所本庁舎大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

- (1) 第6次鴻巣市総合振興計画基本構想一部改定(案)について
- ・パブリックコメントの実施結果について(報告)
 - ・これまでの審議内容の確認について
 - ・答申(案)について

- (2) 後期基本計画(案)の審議方法について

4 その他

5 閉 会

これまでの審議内容の確認について

【政策展開の方向の見直し】

○背景・意図

- ・人口減少と少子高齢化対策の一層の強化
- ・急激な時代の変化と多様な社会課題に柔軟かつ適切に対応
- ・将来都市像に向けた魅力あるまちづくりの一層の強化

○審議会としての意見：妥当である

【各グループからの意見に対する市の考え】

○子育てと教育の統合及び政策 1 への展開

- ・結婚支援の充実、家族形成に関する意識向上、生活や仕事の安定
- ・安心な子育て環境づくりに向けた施設活用等における子育てと教育の一連性
- ・子ども及び親の居場所づくり、地域との連携

合計特殊出生率の向上を目指し、市民の結婚や家族形成への意識を高める必要性を認識。

また、子育てと学校教育、さらに地域の連携を強化し、子どもから大人まで生涯にわたって伸び伸びと成長し続けられるような政策展開を図る。

○新型コロナウイルス感染症への対応

- ・安全・安心に関する政策への位置づけと政策 1 の維持

安全・安心に関する政策においても、新型コロナウイルス感染症に対する危機意識を示す。

また、すべての政策は、総合的にまちづくりを進めていく上での柱であるという考えは維持。

- ・「健康づくりの推進」の範囲

市民アンケートにおけるアフターコロナ時代の重要度では「医療体制の確保」「市民の感染防止対策」が高く、密接に関わっていることから、医療提供体制の整備とセットで感染症への対策（予防）を行っていくことが効果的であると考えている。施策「健康づくりの推進」では、心と体の健康増進と疾病予防（早期発見・重症化予防）、医療提供体制の整備などを一体的に行う施策としている。

○花・緑・コウノトリの一体的な施策展開

- ・市民の意識向上と協働の必要性
- ・生産者への支援などの産業振興やイメージの強い観光分野との連携
- ・田んぼ、コウノトリ、自然環境保全、環境教育といった関係性を生かした取組の強化

統計からも見える農業分野における優位性やコウノトリといった独自性を鴻巣市の特徴として、魅力あるまちづくりに生かすとともに、市民との協働により、花や緑がまちにあふれ、市民の生活に潤いをもたらす「住む人にやさしい」まちづくりを進めていく。

さらに、コウノトリをシンボルとした自然の豊かさを次代を担う子どもたちと共有し、環境意識の啓発や地域への愛着醸成を図ることで、まちづくりの発展につなげていく。

諮問に対する答申（案）について

諮問事項① 第6次鴻巣市総合振興計画基本構想一部改定（案）

基本構想一部改定（案）に示された「政策展開の方向」は、第6次総合振興計画に掲げる人口減少の抑制と人口減少社会への適応に向けた取組を発展・強化するものであり、現在の社会環境の急激な変化と鴻巣市を取り巻く課題を把握したものと考えます。

また、各政策の目指す姿や施策構成は、将来都市像「花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす」に向けて、鴻巣市の特色を生かした魅力あるまちづくりを総合的に進めていくものとして適切な内容であり、令和4年度を始期とする後期基本計画の策定を見据えた基本構想の変更は妥当であると認めます。

なお、審議会にて取りまとめた具体的な意見、要望を別紙のとおり付記しますので、後期基本計画における各施策の検討にあたって、十分配慮されることを望みます。

政策1について

- ・ 将来人口の目標達成に向けて、子育て世代の転入促進に取り組むほか、各施策と連動した市民の結婚意識の向上や家族形成に関する取組も重要である。
- ・ 子育てと教育の連携強化に努め、子どもの居場所づくりでは、学校施設の利用や民間事業者との協働を推進されたい。
- ・ 子どもの教育では、学力だけではなく、心の成長においても一人ひとりに寄り添った適切な対応ができる体制づくりを進められたい。また、学校・家庭・地域の連携により、子どもも親も地域の中で成長していける環境づくりを進められたい。

政策2、政策3について

- ・ 新型コロナウイルス感染症に代表される新型感染症への対策については、医療提供体制の充実と併せて市民の命と健康を守る施策の取組を推進されたい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は、災害としての認識もあることから、安全・安心に関する政策においても感染症対策について配慮されたい。
- ・ 国がグリーン社会の実現を目指す中、市として脱炭素社会を目標に掲げることは、市民の自然環境の保全に対する意識の醸成、SDGs 推進の視点としても重要である。

政策4、政策5について

- ・ 花と緑、生物多様性の取組については、鴻巣市の特徴を生かしたものであり、将来都市像の実現に向けて、農業や観光分野等と連携した魅力あるまちづくりを進められたい。
- ・ 公園の整備については、今後も進めていくべき重要な取組であり、市民が利用しやすく快適な空間づくりを進められたい。
- ・ コウノトリというブランドを他の施策分野にも積極的に活用するほか、学校教育における多様な環境教育の取組も図られたい。

政策6について

- ・ 都市基盤としての施策において様々な分野のデジタル化を推進することは重要である。一方で、行政と市民の間にギャップが生じないように、利用者目線での普及促進に取り組まれたい。
- ・ シティプロモーションについては、昨年度の審議会でも多くの意見が出たところであり、鴻巣市の魅力を市民が共感できるよう、市民協働の取組により積極的な事業展開を進められたい。